

《担当者名》講師/姫嶋瑞穂

【概要】

最近では、テレビや新聞などで、法に関する話題がよく取り上げられている。しかし、法や法律と聞くと難しくなじみにくいイメージを持ってしまいがちである。例えば、医療従事者の職務は医療・薬事関連法規によって規定されているが、医療をとりまく環境が刻々と変化しつづけるなかで、それに関連する法的問題に対しても、社会の関心は日々高まってきている。人はこの世に生まれてから死ぬまで法や法律と何らかの形で密接に関わっている。『法』とは何か、道徳や倫理といったほかの決まりごととはどう違うのか、我々にとって実は身近な『法』と「生命」「医療」との関係について改めて考えてみる、これが本講義のコンセプトである。初めて法学を学ぶ受講生には法律に対する興味や関心をもってもらうため、身近な出来事・ふとした疑問を出発点として、生命・医療に関わる身近なテーマを取り上げる。「法学」を学んでその諸原則を理解するとともに、医療に従事する専門職として法的思考（論理的思考）を身に付ける。

【学修目標】

現代医療の法的・倫理的諸問題について法的思考方法を学ぶことで医療に従事する専門職として法律学を活用できる。
法を学ぶことを通じて、社会に対する広い視野と深い洞察力を身につけ、実践できる。
現代社会における法の役割について、自分の意見を交えながら適切に説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	薬剤師と法 Part1 教科書 p1～p8	医療に関する法の基礎知識について理解し、説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A(1),(2),(3),(4) B(1),(2)	姫嶋瑞穂
2	薬剤師と法 Part2 教科書 p54～p55 p79～p85	医療に関する法の基礎知識と法制度の基本的しくみを理解し、薬剤師の責務について説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A(1),(2),(3),(4) B(1),(2)	姫嶋瑞穂
3	薬剤師と法 Part3 教科書 p19～p45	医療に関する法の基礎知識と法制度の基本的しくみを理解し、薬剤師の責務について説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A(1),(2),(3),(4) B(1),(2)	姫嶋瑞穂
4	薬剤師と法 Part 4 教科書 p47～p50 p55～p63	医療に関する法の基礎知識と法制度の基本的しくみを理解し、薬剤師の責務について説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A(1),(2),(3),(4) B(1),(2)	姫嶋瑞穂
5	私の命はだれのもの？ 教科書 p14～p21 p183～p194	患者の希望に医療従事者はどこまで従わなければならないのか。患者の権利と医療従事者の義務・治療上の特権をめぐる法律問題について説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A(1),(2),(3),(4) B(1),(2)	姫嶋瑞穂
6	医療と倫理規範 教科書 p175～p183	リスボン宣言やヘルシンキ宣言などの代表的な倫理規範について説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A(1),(2),(3),(4) B(1),(2)	姫嶋瑞穂

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
7	生命の神秘への挑戦 教科書 p291～p306	遺伝子医療やクローン技術などの先進医療について説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A(1),(2),(3),(4) B(1),(2)	姫嶋瑞穂
8	選ぶ技術・選ぶ人 産まない権利・生まれる権利 教科書 p223～p241	生命誕生への介入をめぐる生殖医療の問題、出生前診断と障害児の「生まれる権利」、人工妊娠中絶をめぐる問題について説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A(1),(2),(3),(4) B(1),(2)	姫嶋瑞穂
9	人の死をめぐるジレンマ Part1 教科書 p241～p256	脳死・臓器移植問題が私たちに問いかけるものとはどんなことなのか？移植医療をめぐる問題について説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A(1),(2),(3),(4) B(1),(2)	姫嶋瑞穂
10	人の死をめぐるジレンマ Part2 教科書 p17～p18 p195～p199	「自分らしい生を全うする」ためにはどうしたらいいのか？病名告知とインフォームド・コンセントについて説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A(1),(2),(3),(4) B(1),(2)	姫嶋瑞穂
11	人の死をめぐるジレンマ Part3 教科書 p199～p206	「自分らしく、人間らしく」死にたいと思うか？終末期医療と安楽死・尊厳死をめぐる問題について説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A(1),(2),(3),(4) B(1),(2)	姫嶋瑞穂
12	チーム医療と薬剤師 教科書 p69～p79 p108～p125	チーム医療の意義・各医療職の業務について検討し、チーム医療における薬剤師の役割について説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A(1),(2),(3),(4) B(1),(2)	姫嶋瑞穂
13	医療事故発生！責任はどう追及される？ 教科書 p125～p135 p143～p149	医療事故をめぐる具体的事案を検討することで医療従事者の法的責任について説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A(1),(2),(3),(4) B(1),(2)	姫嶋瑞穂
14	薬害訴訟 教科書 p256～p270	薬害事件と再発防止・被害者の救済について検討することで薬害訴訟について説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A(1),(2),(3),(4) B(1),(2)	姫嶋瑞穂
15	医療の安全対策と医薬品副作用被害救済制度 教科書 p270～p275	医薬品副作用被害救済制度について検討し、医薬品医療機器総合機構の役割について説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A(1),(2),(3),(4) B(1),(2)	姫嶋瑞穂

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

期末定期試験により評価する。（100％）

【教科書】

姫嶋瑞穂『医事法学入門 第2版』（成文堂、2021年12月）

【備考】

授業中の私語・携帯電話・途中退席は厳禁である。遵守できない者には厳正に対処する。

【学修の準備】

予習として、教科書の該当箇所を読んでおくこと（60分）。

復習として、教科書・講義ノート・プリントを活用し、確認問題を解いて学習を深めること（100分）。

【関連するモデルコアカリキュラムの到達目標】

A 基本事項

- (1) 薬剤師の使命
- (2) 薬剤師に求められる倫理観
- (3) 信頼関係の構築
- (4) 多職種連携協働とチーム医療

B 薬学と社会

- (1) 人と社会に関わる薬剤師
- (2) 薬剤師と医薬品に係る法規範

【薬学部ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

1. 医療人として求められる高い倫理観を持ち、法令を理解し、他者を思いやる豊かな人間性を有する。